

Macユーザー様へのマイティわんCloud 読影依頼システムワークフロー

OsiriXで画像を管理し、Mac仮想マシン（Windows）を利用し、インフィニティメディカルソフト社ソフトウェアで新潟動物画像診断センターに読影依頼したい場合は以下の手順をご参照ください

1. DICOMデータ出力(Macフォルダに出力)

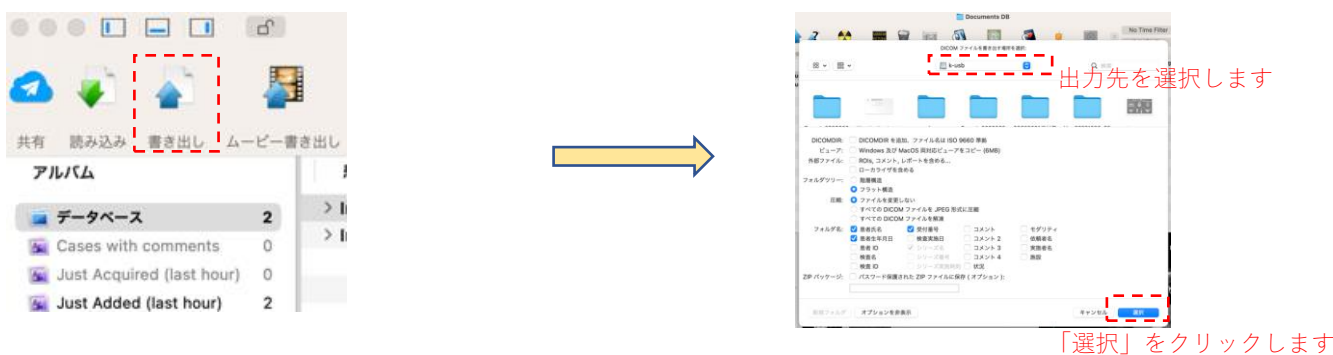
Macに出力用のフォルダを作成する場合、仮想マシン（Windows）側でも表示できます



- ①新規フォルダ作成します
- ②OsiriXで書き出しをクリックします
- ③出力のフォルダを選択し、出力開始します
- 仮想マシン（Windows）側で出力した内容も確認できます

1. DICOMデータ出力(USBを利用する場合)

- ①USBをMacに差し込んで、読影を依頼したいデータを書き出します
- ②出力先をUSBに選択し、出力を開始します



※USBフォーマット設定について



Mac OS/WindowsのOSの間で書出・読込をする為、USBのフォーマットは「exFAT」にする必要があります。

<設定手順>

- ①Mac Appからディスクユーティリティを開きます。
- ②利用するUSBを選択し、フォーマットを「exFAT」を選択し、消去をクリックします。

※中身のバックアップはユーザー様に事前にご確認ください。

- ③MacからUSBを取り外し、仮想のWindows環境を起動します（Parallels Desktopを例とします）



- ④Windowsの画面でUSBを差し込むと接続先の選択画面が表示されますので、「Windows」を選択します

Windows11の場合：



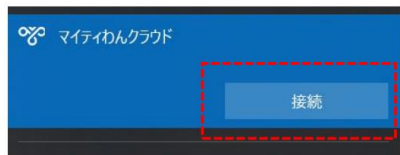
2. VPN接続

転送する為のVPNを接続します（VPNはインフィニティメディカルソフト社にて設定）

Windows10：



クリックします



接続をクリックします

Windows11：



枠内のアイコンを右クリックし、ネットワーク設定を選択します



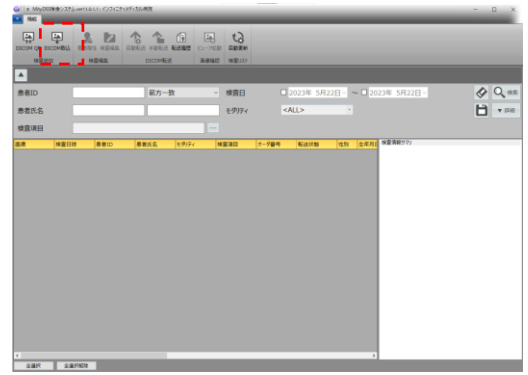
接続をクリックします

3. インフィニティメディカルソフト社ソフトウェアで読影依頼

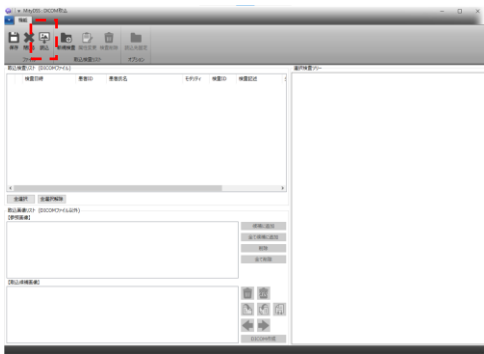
①読影依頼用ソフトウェア「MityDSS」を起動します



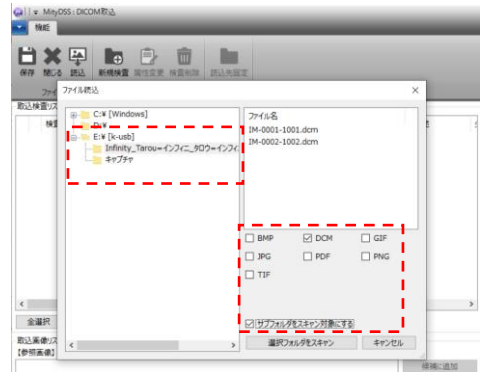
②「DICOM取込」ボタンをクリックします



③「読込」ボタンをクリックします



④フォルダ選択画面にて「USB」フォルダを選択し、「DCM」と「サブフォルダをスキャン対象にする」をチェックし、「選択フォルダをスキャン」ボタンをクリックします



⑤スキャン完了後、保存ボタンをクリックすると、自動的にマイティ・わんCloudにアップロードし、新潟動物画像診断センターに依頼が送信されます



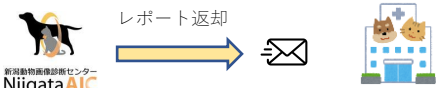
自動アップロード



読影依頼



※依頼書は新潟動物画像診断センターホームページにて入力ください



レポートが返却されると依頼施設に通知メールが送信されます

※新潟動物画像診断センターよりレポート原本の送信及び説明を行います。

返却されたレポートはマイティ・わんCloud側で確認できます。以下はイメージ図です

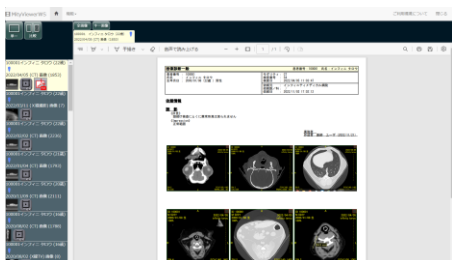


検査リスト画面

レイアウト変更、Dicomダウンロード可能



Webビューイメージ



レポート確認画面